号 外

新潟米マンスリーレポート

（令和2年5月号　号外）

主食用米の需給が急激に緩和しています！

全国のうるち米の民間在庫量は、前年同期に比べ３月末の８万ﾄﾝ増から、４月末には 13 万ﾄﾝ増に拡大しており、急激に在庫が積み上がっています。

また、４月末現在の令和２年産の主食用米の作付意向は、本県を含め全国 35 都道府県で前年並みとなっており、主食用米の生産を抑制する動きは鈍い状況です。

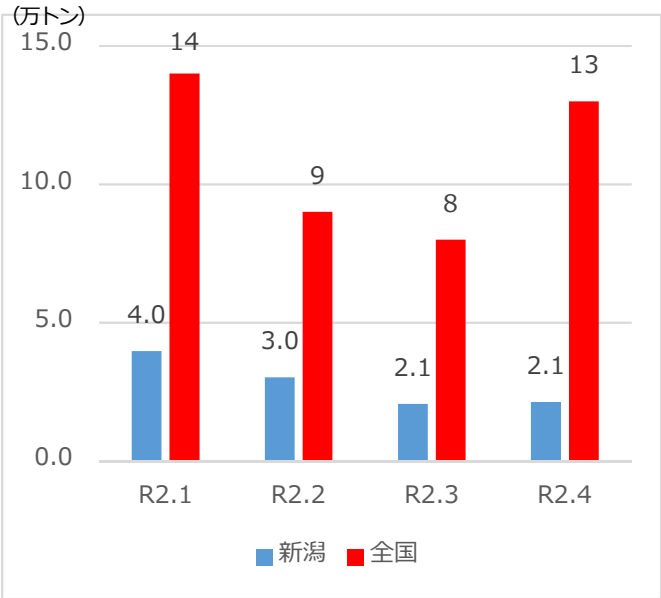
新型コロナウイルス感染症の影響等による外食需要の減少等により、需要はかつてなく不透明な状況で、米価の下落が懸念されることから、農家経営の安定化を図るため、非主食用米への転換を進めリスク分散を図りましょう。

＜民間在庫の状況（４月末現在）＞

農林水産省の公表によると、全国のうるち米の民間在庫量は、前年同期に比べ３月末の８万トン増（235 万トン）から、４月末には 13 万トン増（205 万トン）に拡大しています。

本県においても、民間在庫量の前年同期差は、４月末も前月から横ばいの+2.1 万トン（全国３位）となっており、在庫が積み上がっている状況です。

民間在庫の推移（前年同期との差）



（出典：農林水産省）

産地別民間在庫

（単位：万玄米トン）

	４月		
		前年同期	差
全国	205	192	＋ 13
山形	13.1	9.4	＋ 3.6
福島	16.2	13.7	＋ 2.5
新潟	15.7	13.6	＋ 2.1
宮城	13.3	11.9	＋ 1.3
岩手	10.2	9.0	＋ 1.2
青森	11.8	10.7	＋ 1.1
秋田	16.2	15.1	＋ 1.1

（出典：農林水産省）

＜令和２年産米等の第２回中間的取組状況（令和２年４月末現在）＞

農林水産省は、令和２年産における各都道府県及び各地域農業再生協議会別の主食用米、戦略作物等の作付意向（４月末現在）を取りまとめ、５月 27 日に公表しました。

本県を含め 35 都道府県が前年並みに主食用米を作付けると見込まれ、国の需要見通しを上回り、過剰生産になることが危惧されます。

また、県内では主食用米が前年より増加傾向の協議会は「11 協議会」、前年並みの協議会は「18 協議会」、減少傾向の協議会は「５協議会」となっています。

新型コロナウイルス感染症の影響により、需給はかつてなく不透明な状況で、米価の下落が懸念されることから、新潟米の需給の安定化に向け、需要のない主食用米については非主食用米に転換しましょう。

国公表の令和２年産の都道府県別作付見込み（主食用米、４月末現在）

地域	前年並み傾向（35都道府県）	減少傾向（12府県）
北海道・東北	北海道、岩手、宮城、秋田、山形	青森、福島
北陸	**新潟**、富山、石川	福井
関東・東海	茨城、栃木、群馬、埼玉、東京、神奈川、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知、三重	千葉
近畿・中四国	京都、兵庫、奈良、鳥取、島根、岡山、広島、徳島、香川、愛媛、高知	滋賀、大阪、和歌山、山口
九州・沖縄	福岡、佐賀、熊本、鹿児島	長崎、大分、宮崎、沖縄

新型コロナウイルス感染症の影響等により、民間在庫は積み上がっており、米価の下落が懸念される状況となっています。営農計画書の締切の６月末まで、非主食用米の転換に取り組みましょう。

発行元：新潟県農林水産部農産園芸課
ＴＥＬ：０２５－２８０－５２９５
ＵＲＬ：https://www.niigatamai.info